

# 博 物 館

## 第1節 概 要

### 1 運営の概要

開館2年目の本年度は、調査研究・企画展・教育普及事業を中心に内容の充実を図り、その成果に県内外から高い評価が寄せられている。館の内容・機能の理解が進むにつれて、貴重なコレクションの寄贈・寄託が急増したことで、市町村の文化財保存事業に対する指導要請が多いことを指摘できる。収集・調査事業を通じて市町村との密着を図り、それが確実に入館者数に反映しており、有料入館者数は25万人を超え、他に教育普及事業への出席者数は7,800人、体験学習室のみの利用者数は3,000人を超えている。

### 2 運営協議会

#### ア 委 員

学校教育	伊藤 正男	県小学校長会代表
	小林 四郎	県中学校長会代表
	樫村 五郎	県高等学校長協会代表
社会教育	望月 敏雄	公民館連絡協議会長
	邊見榮之助	福島県文化センター館長
学識経験者	高田 兼芳	県議会議員
	岡田 茂弘	国立歴史民俗博物館教授
	高瀬喜左衛門	県立会津短期大学学長
	太田美恵子	市町村教育委員連絡協議会長
	中川 幸意	会津史談会長

#### イ 会 議

- 第1回 昭和62年10月30日 第2会議室  
・報告 県立博物館の運営について  
・協議 県立博物館友の会について  
県立博物館学習指導の手引きについて
- 第2回 昭和63年3月8日 第2会議室  
・協議 昭和63年度予算、事業概要について  
県立博物館友の会について  
県立博物館利用の手引について

## 第2節 調査研究事業(テーマ研究)

### 1 縄文土器の地域性

- ア 分布調査 大川水系 6月12日～7月22日、伊南川水系 7月23日・24日、只見川水系 9月4日
- イ 試掘調査・測量調査 田島町系上ノ台遺跡 10月14日～15日 12月15日～17日
- ウ 出土品整理 11月～3月
- エ 関連資料調査 加曾利貝塚博物館・法政大学考古学研究室 2月9日～11日

### 2 近世の流通路(廻米を中心として)

- ア 阿賀川舟運関係調査 新潟県蒲原郡・同豊栄市・同新津市・同糸魚川市 5月20日～10月24日
- イ 阿武隈川舟運関係調査 東和町・安達町・川俣町・本宮町 9月19日～20日
- ウ 下野街道・八十里越・六十里越関係調査 金山町・只見町・栃木県藤原町・新潟県小出町・同小千谷市 6月19日～10月14日
- エ 関連資料調査 三井文庫 明治大学刑事博物館 12月17・18日
- オ 大揚川船模型製作 津川町船大工 志田誠

### 3 町の歴史と民俗

- ア 予備調査 須賀川市北町地区 6月18・19日
- イ 須賀川市北町地区調査 7月3～6日、11月14～17日
- ウ 会津若松市七日町地区調査 8月23～26日 昭和63年1月10～13日
- エ 小野町吉田家文書調査 9月18・19日 12月3～5日

### 4 浜通り地方形成史の解明

- ア いわき市泉・植田・高久地区の層序・構造調査 11月26～30日 昭和63年3月16～19日

### 5 出土鉄製品の構造技法調査

- ア 直刀の構造技法調査
- ㊦ 大塚山古墳北棺出土直刀X線透過撮影による調査
  - ㊧ 神宮寺出土金銅装環頭大刀拵 “ ”
  - ㊨ 平造大刀及びびら本孔象嵌大刀 “ ”

### 6 三貫地貝塚出土品整理事業

- ア 実測図作成 土器100点 石器100点 骨角器50点
- イ トレース作成 土器100点 石器100点 骨角器50点
- ウ 図版作成 土器150点 石器150点 骨角器120点
- エ 原稿執筆 経過300枚 遺物・遺構1,000枚  
考察300枚

### 7 クジラ化石整理事業

- ア クリーニング
- イ 樹脂含浸 肋骨10本 脊椎骨3本
- ウ 接合復元 肋骨5本
- エ 写真撮影 肋骨10本 脊椎骨5本 上腕骨1本
- オ レプリカ作成 肋骨3本